

U.S. Indicators

米国 大幅に改善し景気の堅調さを示す(16年9月ISM非製造業・総合景気指数)

2016年10月6日(木)

～活動指数、新規受注が高水準を回復～

第一生命経済研究所 経済調査部

桂畑 誠治

03-5221-5001

ISM非製造業景気指数

	総合指数	活動指数	新規受注	雇用	入荷遅延	受注残高	仕入価格	新規輸出受注	輸入	在庫変動
16/01	53.5	53.9	56.5	52.1	51.5	52.0	46.4	45.5	46.0	51.5
16/02	53.4	57.8	55.5	49.7	50.5	52.0	45.5	53.5	55.5	52.5
16/03	54.5	59.8	56.7	50.3	51.0	52.0	49.1	58.5	53.0	52.5
16/04	55.7	58.8	59.9	53.0	51.0	51.5	53.4	56.5	54.0	54.0
16/05	52.9	55.1	54.2	49.7	52.5	50.0	55.6	49.0	53.5	54.0
16/06	56.5	59.5	59.9	52.7	54.0	47.5	55.5	53.0	54.0	55.5
16/07	55.5	59.3	60.3	51.4	51.0	51.0	51.9	55.5	53.0	54.0
16/08	51.4	51.8	51.4	50.7	51.5	49.5	51.8	46.5	50.5	48.0
16/09	57.1	60.3	60.0	57.2	51.0	52.0	54.0	56.5	51.0	51.5

(出所) ISM

非製造業景気指数は 57.1と前月比5.7% ポイント上昇

16年9月のISM非製造業景気指数(季節調整値)は、57.1と前月比5.7%ポイント上昇し市場予想の53.0を上回った。一時的な要因で前月に急低下した反動もあり、高い水準となった。ISMは、9月の57.1という水準はGDPが前期比年率で+3.2%成長していたときの水準と指摘している。総合指数の算出項目をみると、入荷遅延が低下した一方で、新規受注、活動指数、雇用が上昇した。寄与度では、入荷遅延が前月比▲0.13%ポイントの押し下げ寄与となったが、新規受注が前月比+2.15%ポイント、活動指数が前月比+2.13%ポイント、雇用が前月比+1.63%ポイントの押し上げた。全ての構成項目が拡大縮小の分岐点となる50を上回ったうえ、活動、新規受注、雇用は高い水準となった。

拡大した業種数は、全18業種中14業種(8月11業種)と増加、過半数を上回っている。拡大した業種は、農林水産業、公益、小売業、企業向けサービス、情報産業、医療・社会支援、運輸・倉庫、金融・保険、建設業、その他サービス、卸売業、公的部門、宿泊・飲食サービス、専門・科学・技術サービス。一方、縮小した業種数は4業種(8月7業種)と減少した。不動産、教育サービスが縮小に転じたが、継続して縮小している業種は、鉱業、芸術・娯楽・レクリエーションにとどまった。鉱業は、過去の原油価格下落の影響が残存しているほか、芸術・娯楽・レクリエーションは悪天候、ドル高などの影響を受けたとみられる南米からの旅行客の減少等により悪化した。

ISM総合景気指数は 米経済の緩やかな拡大 の継続を示唆

米国経済全体の景気動向を示す「ISM総合景気指数(非製造業景気指数と製造業景気指数で合成)」は、9月に56.5と8月の51.2から5.3%ポイント上昇した。また、7-9月期に54.3と4-6月平均の54.7(16年1-3月期53.4、15年10-12月期56.1)か

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。

ら小幅低下にとどまっております、7－9月期の米国経済は緩やかに拡大したことを示している。

ドル高や中国経済の減速傾向による需要抑制が続くもとで、雇用所得の増加や金利低下を受けた個人消費の拡大を背景に、ISM総合景気指数は年内現状程度の水準で推移すると予想される。

